

2011年に「GLOBAL 2020 VISION」で掲げた
「TRY1」3事業分野の最近の取り組みをご紹介します

モビリティ

～次世代自動車と生産拠点のグローバル化への対応～

当分野では、ハイブリッド車や電気自動車などの次世代自動車へのシフトが進む中、レアアースやレアメタルなどの安定供給のための投資や水素補給サービスステーションの試験導入など、対応を強化しています。

また、自動車生産のグローバル化への対応として、従来のコイルセンターや物流倉庫、ディーラー設立に加え、日系部品メーカーの海外進出をサポートするテクノパーク事業、小規模生産（CKD）、タイヤ組付などのアッセンブリー事業を現地のニーズに即した形で取り組んでいます。



トヨタ自動車株式会社との合弁「フォーチュナー」のCKD事業



アストラグループ自動車部品メーカー本社外観

2013年5月には、インドネシア最大の企業グループであるアストラグループの自動車部品メーカーへ出資いたしました。当社とアストラグループは40年以上に亘り良好な関係を構築しており、インドネシアにおける自動車関連事業の更なる拡大を目指します。



自動車部品例

～再生可能エネルギーの普及・促進～

当分野では、資源・エネルギー、特に環境負荷の少ない再生可能エネルギーを重点分野のひとつと位置づけており、現地のニーズを捉えた電力の安定供給のため幅広い事業に取り組んでいます。

ケニアにおいては、現在の同国の総発電容量の約25%を占める最大の地熱発電プロジェクトを受注し、同国内の電力安定供給の一翼を担っています。

また、当社関係会社である株式会社ユーラスエナジーホールディングスは25年以上に亘り全世界で風力及び太陽光発電事業を展開しています。

本年度より、国内においても太陽光発電事業（メガソーラー）を開始いたしました。



株式会社ユーラスエナジーホールディングスの岬太陽光発電所



バイオマス発電プラント



発電用チップ

2013年7月には、当社関係会社の株式会社エネ・ビジョンが森林資源の有効活用による森林環境の改善、再生可能エネルギーの普及・促進の観点から、島根県において国内最大級の木質バイオマス発電事業に参入いたしました。

今後、当社は更なる再生可能エネルギーの普及に向けて取り組みを強化していきます。

▶ 「TRY1」 3事業分野の取り組み

ライフ&
コミュニティ

～「豊かさの創造」を追求～

当分野では、人々の生活に密接に関連した商品・サービスを幅広く取り扱っています。

最近では、CFAO S.A.のネットワークを活かしたアフリカでの医薬品卸売事業、インドでの病院経営やタイでのクリニック事業、マグロ養殖事業やパプリカ栽培など、人々の健康とより豊かな生活の実現を目指した取り組みを行っています。



CFAO S.A.の医薬品卸売事業



パプリカ栽培

2013年9月には、紙おむつに使用される高吸水性樹脂（SAP）の生産・研究開発・販売を行う合併事業に参入いたしました。SAPは紙おむつ原料として堅調に需要が伸びており、とりわけ新興国市場においては、子供用紙おむつの普及に伴い年率10%を超える成長が見込まれています。



紙おむつに使用される高吸水性樹脂（SAP）

今後も当社の強みを活かしながらグローバル展開を加速し、人々の豊かさの創造のため注力していきます。

